



連携いいわい

令和5年5月

第39号

岩手県立磐井病院

年頭のごあいさつ

岩手県立磐井病院長 佐藤 耕一郎



2006（平成18）年度に狐禅寺に新築移転してから17年が経過いたしました。患者さんと関係者の方々のご協力により、多少の波風はありますが、ほぼ順調に病院を運営できていることに対し、深く御礼申し上げます。

磐井病院は基幹病院であり、2次救急を中心とする急性期医療の担い手として、「がん治療」を初期から終末期まで行う高度の診断、治療技術を持ち、終末期は緩和ケア病棟でのケアを行う病院としての役割を担っております。また、両磐圏域の福祉・介護施設との連携を行う地域医療支援病院や将来の専門医を育てる臨床研修病院としての役割を持ち、さらに安全な分娩から成人に達するまでの小児科領域の中心となる病院等、多岐の命題を担っております。

2018年6月に医療相談・入退院支援等を含めた「患者支援センター」が開設され、入院前から外来で患者さんに入院生活のイメージを行い、患者情報（入院前のサービス利用等）や内服薬を確認し、リスクアセスメント、退院支援スクリーニングを実施することで、患者さんは入院生活や治療経過をイメージし、十分な準備した上で入院に臨むことができるようになりました。病院側は、患者個別の事情を事前に評価した上で患者さんを受け入れることができ、円滑な入院医療の提供につながります。また、2023年より入院される患者・ご家族の労力軽減、院内感染予防等を目的に入院セットを導入し、手ぶらでの入院を可能として現在9割の方が利用しております。

産婦人科は、少ない医師数で年間578件と県内でも有数の高い分娩数を維持しており、小児科は現在6名体制で、両科ともに両磐圏域だけでなく、胆江圏域や宮城県北など広域医療圏をカバーしております。

整形外科は6名体制となり、脊椎や下肢の専門家が常在し、東北でも有数の手術件数の多い病院となっております。消化器科は症例数のかなり多い分野でもあり、昨年より医師が2名プラスとなり、大腸癌による腸閉塞が多いというこの地区の問題を少しでも解消するべく頑張っております。また、痛み等で大腸内視鏡が入りづらい患者さんのために、CTによる仮想内視鏡システムを導入しており、あまり痛い思いをしないで大腸がんを発見できるようになりました。外科も腹腔鏡を使用した手術件数が大きく開腹を上回るようになり、手術の低侵襲化が進んでおります。それに従い麻酔科医も3名から5名に増員し、臨時手術にも迅速に対応しております。

<岩手県立磐井病院 理念>

地域と連動し、患者さんにやさしく、質の高い安全な医療を提供します

<岩手県立磐井病院 基本方針>

- ①十分な説明と同意のもと、患者さん中心の医療を提供します。
- ②常に最新の医療を求め、高度でかつ専門的な医療を提供します。
- ③患者さんの安全を最優先としたチーム医療を提供します。
- ④地域医療と連動し、患者さんの健康増進、救急医療の充実に努めます。
- ⑤豊かな人間性と優れた専門技術を持った医療人の共育を行いながら育成します。
- ⑥職員一人一人が自覚を持って健全な病院経営に努めます。
- ⑦新しいことはデータに従って理論的に行い、必ず施行後に検証を行います。

Contents

- 年頭のごあいさつ・・・1・2
- 新任医師・研修医紹介・・・3・4



循環器科は既存の手技に加え、ECMOを導入し、今まで助けられなかった人を助けられる体制を構築しつつあります。

また、当院は、脳神経内科、脳神経外科を中心に1次脳卒中センターとなっており、血栓溶解剤での内科的治療が可能となっておりますが、今年度デュアルタイプの血管撮影装置が導入される予定で、これにより血栓を直接除去する血管内治療ができる病院にグレードアップする予定です。

昨年度、強度変調放射線治療（IMRT）ができる装置を導入しました。これは照射野の放射線に強弱をつけ、腫瘍に対して集中的に照射を行うことができる方法であり、特に、歪な形の腫瘍に対してもその形に合わせて放射線を照射することが可能です。現在、前立腺癌への照射症例が多く、放射線科が担当しておりますが、泌尿器科でも照射が直腸などに影響を与えないようにハイドロゲル直腸周囲Spacerを放射線治療施行前に挿入し、副作用を未然に防いでおります。

また、アレルギー性鼻炎や慢性副鼻腔炎に対する内視鏡による外科的治療を耳鼻咽喉科で行っており、毎年季節的に鼻の症状で悩まされている方にとっては朗報になると思われまますので、ご相談くださいますと幸いです。

新型コロナ対策では、発熱を伴う患者さんの対応に時間がかかり、特に救急科の負担が大きくなっておりますが、今年度より1名減となるため、パフォーマンスの低下を危惧しておりました。しかし、5月8日からの5類への変更に伴い、コロナを疑う発熱者はどこの病院でも診ることができるようになり、負担の軽減になるのではと考えております。また、重点医療機関である当院は、5月から主に中等症IIと重症患者さんを入院させる病院となります。ただし、小児、妊婦を診る入院医療機関が他にないことから、小児、妊婦に関しては軽症から中等症Iも入院の対象となります。

当院には新型コロナを診る呼吸器内科医は1人しかおらず、多忙を極めておりますので、一関市が示す分担案に沿った患者紹介、入院をお願いします。

昨年度より、地域連携パスの内容を改訂し、さらに他病院とのコミュニケーションを図ることにより、脳卒中と大腿骨骨折の地域連携パスが回るようになってきました。今後ともご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

今後も、当院は「地域と連動し、患者さんにやさしく、質の高い、安全な医療を提供します」という基本理念のもと、地域医療への貢献、更なる経営改善の取組み、及び多職種による地域の医療・介護・福祉との連携に努めて参ります。

当院は、地域に必要な医療を担う一つの歯車として、効率良くかつ質の高い医療を提供し、地域の皆様のお役に立てますようさらなる努力する所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



2023年度新任医師・研修医の紹介



(かしわだて としあき)

氏名：柏館 俊明
 役職名：消化器外科長
 出身大学：日本大学

所属学会：日本外科学会（外科専門医）、日本消化器外科学会（専門医、指導医）日本消化器病学会（専門医）

専門分野：消化器外科、肝胆膵外科、移植外科
ひとこと：東北大学では肝、膵、腎に対する移植医療と原発性肝癌に対する外科治療を中心に行っておりました。磐井病院には十数年ぶりに戻って参りました。両磐地区の地域医療に貢献すべく頑張りますので、よろしくお願いします。

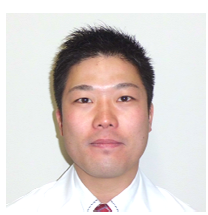


(たまのい たかし)

氏名：玉野井 喬
 役職名：歯科口腔外科医長
 出身大学：奥羽大学

所属学会：日本歯科麻酔学会、日本障害者歯科学会
専門分野：歯科麻酔

ひとこと：4月に福島県からやって来ました、玉野井 喬（たまのい たかし）と申します。今後は皆さんと一緒に働くことを楽しみにしております。趣味は旅行とキャンプです。今後は岩手の自然を満喫しながら仕事に励んで参ります。どうぞよろしくお願いします。



(しょうばら しゅういち)

氏名：庄原 秀一
 役職名：循環器内科医長
 出身大学：弘前大学

所属学会：日本内科学会（内科専門医）、日本心血管インターベンション治療学会認定医、日本循環器学会、日本心臓病学会

専門分野：循環器一般
ひとこと：初期研修医の時からお世話になっていた磐井病院にまた戻って参りました。皆さまのお役に立てるよう頑張りますので、何卒よろしくお願いします。



(あべ ももこ)

氏名：阿部 桃子
 役職名：形成外科医長
 出身大学：東京女子医科大学

所属学会：日本形成外科学会

専門分野：形成外科一般
ひとこと：丁寧な診療を心がけます。宜しくお願い申し上げます。



(さとう ひろあき)

氏名：佐藤 宏陽
 役職名：整形外科医長
 出身大学：山形大学

所属学会：日本整形外科学会、日本整形外科学会、日本臨床整形外科学会

専門分野：膝、スポーツ
ひとこと：よろしくお願いします。

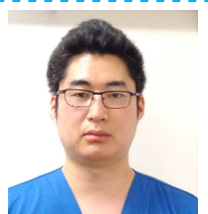


(まちだ ありさ)

氏名：町田 愛里沙
 役職名：泌尿器科医長
 出身大学：岩手医科大学

所属学会：日本泌尿器科学会、日本泌尿器内視鏡学会、日本小児泌尿器科学会、日本透析医学会

専門分野：泌尿器科一般
ひとこと：まだまだ未熟ですが精一杯尽力させていただきます。よろしくお願いします。

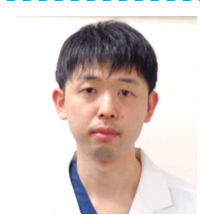


(きくち しゅんけい)

氏名：菊池 俊慧
 役職名：麻酔科医長
 出身大学：岩手医科大学

所属学会：日本麻酔科学会、標榜医

専門分野：麻酔科
ひとこと：この度、岩手に育ててもらったご恩を返すために戻ってきました。微力ながら地域貢献につながる様、努力していきますのでよろしくお願いします。



(ありが やすき)

氏名：有我 泰樹
 役職名：消化器内科医長
 出身大学：秋田大学

所属学会：日本内科学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会

専門分野：消化器内科
ひとこと：患者さんに寄り添った医療を提供できるよう頑張ります。



(おおた あいり)

氏名：太田 藍理
 役職名：歯科医師
 出身大学：岩手医大

所属学会：日本口腔外科学会、日本口腔科学会

専門分野：口腔外科
ひとこと：一関で信頼の置ける歯科医師となれるよう頑張ります。2年間宜しくお願いします。





(おおき ゆうすけ)

氏名：大木 佑亮

役職名：外科医師

出身大学：岩手医科大学

所属学会：日本外科学会

専門分野：外科一般

ひとこと：納得のできる医療の提供を目指し、地域の皆様の健康のために全力で貢献したいと考えています。



(かわむら たつや)

氏名：川村 竜也

役職名：泌尿器科医師

出身大学：山梨大学

所属学会：日本泌尿器科学会

専門分野：泌尿器一般

ひとこと：精一杯頑張ります。よろしくお願いします。



(ちば しゅうへい)

氏名：千葉 周平

役職名：循環器内科医師

出身大学：山形大学

所属学会：内科学会

専門分野：循環器内科

ひとこと：岩手の医療に貢献したいです。



(たかはし りょう)

氏名：高橋 諒

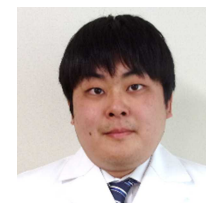
役職名：整形外科医師

出身大学：山形大学

所属学会：日本整形外科学会（申請中）

専門分野：整形外科一般

ひとこと：患者さん一人一人との信頼関係を大切にします。



(みなかわ まさひろ)

氏名：皆川 雅博

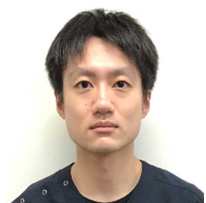
役職名：消化器内科医師

出身大学：岩手医科大学

所属学会：日本内科学会、日本消化器病学会、消化器内視鏡学会

専門分野：消化器内科

ひとこと：毎日少しずつ成長できる様に頑張ります。



(ごとう かん)

氏名：後藤 漢

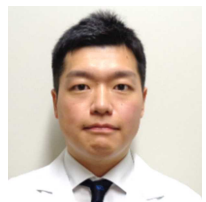
役職名：消化器内科医師

出身大学：富山大学

所属学会：日本内科学会、日本心身医学会、日本心療内科学会

専門分野：心身医学

ひとこと：自粛を続けます。



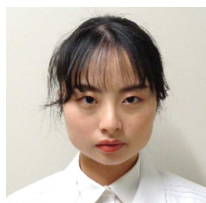
(のぐち いっき)

氏名：野口 一起

役職名：研修医

出身大学：東京医科大学

ひとこと：一関の医療に貢献できるよう精一杯頑張ります。



(いのうえ かな)

氏名：井上 かな

役職名：研修医

出身大学：聖マリアンナ医科大学

ひとこと：1日でも早く医療者として、社会人として1人前になれるよう日々努力いたします。宜しくお願いします。



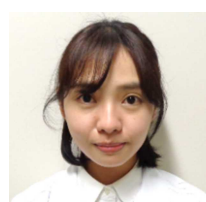
(ひらた ゆういちろう)

氏名：平田 雄一郎

役職名：研修医

出身大学：東北医科薬科大学

ひとこと：一関を初めとした岩手県各地で医師として胸を張って医療に貢献していきたいと思えます。



(せき まゆこ)

氏名：関 真裕子

役職名：研修医

出身大学：福島県立医科大学

ひとこと：磐井病院で研修させていただけることを幸せに思います。毎日少しずつでも成長できるよう精一杯頑張りますので、ご指導宜しくお願いします。



岩手県立磐井病院

【連絡先】

〒029-0192 岩手県一関市狐禅寺字大平17
電話(0191)-23-3452 Fax (0191)-23-9691
連携室直通 Fax (0191)-21-3990

【編集・発行】

岩手県立磐井病院 地域医療福祉連携室
病院ホームページ：<http://www.iwai-hp.com>
公式 Facebook：<http://www.facebook.com/iwaihp>